Panasonic

施工説明書

デザイン階段用　踏板受け金具

品番：MY○891□・MY○893□

※品番中の○にはシリーズ品番、□には色柄を示す英字が入ります。

※この商品は一般住宅およびそれに準じる居住施設の屋内専用です。他の用途へのご使用はおやめください。
屋外および浴室内部など頻繁に水分と接するところには使用しないでください。

■施工開始前に必ずお読みください。

■施工者の安全と使用者の安全確保のために、この施工説明書をよくお読みになり、安全で正しい施工を行ってください。

■取扱説明書、保証書は、必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
（次は図記号の例です）

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠警告

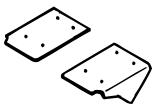
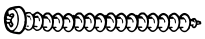
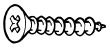
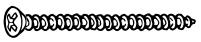
分解禁止	●絶対に分解・修理・改造は行わない 転落事故の原因となります。	必ず守る	●必ず交流100Vの電源で使用する 使用しないと、火災・感電の原因となります。
禁止	●常時湿り気のある場所や水のかかるおそれのある場所には取り付けない 感電の原因になります。		●壁にスイッチを設ける 守らないと、感電の原因となります。
	●電気配線部を直接踏み付けたり、はさんだり、無理な力をかけたり、切断しない 火災・感電の原因となります。		●必ず当社でプレカットされた桁を設置する 守らないと、転落事故の原因となります。
必ず守る	●電源線（VVFケーブル）は引っぱっても抜けないよう確実に接続する コネクタの接続はカチッと音がするまで確実に奥まで差し込む 接続が不完全な場合、火災の原因となります。		●踏板の水平を必ず確認する 守らないと、転落事故の原因となります。
			●桁は必ず補強材を入れて、ボルト・ねじ・接着剤で固定する 守らないと、桁が落下して転落事故の原因となります。
			●必ず指定のねじを使用する 使用しないと、ねじが外れて転落事故の原因となります。

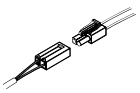
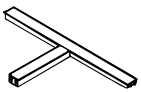
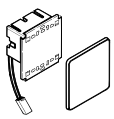
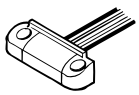
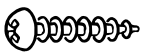
電気工事について

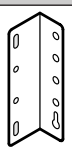
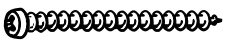
●電気配線工事は、「電気設備技術基準」や「内線規程」に従って確実に行ってください。
配線工事は電気工事士の資格が必要です。

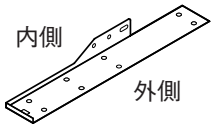
部品一覧

〔寸法単位：mm〕

部品名	入り数	部品名	入り数
踏板受け金具 	左右各1	桁固定・調整用ねじ  十字穴付きなべタッピンねじφ5×40	4
踏板固定用ねじ  十字穴付き皿タッピンねじφ4×25	8	桁固定・調整用平座金 呼び径5	4
桁固定用ねじ  十字穴付き丸皿タッピンねじφ5×40	8	桁固定・調整用ばね座金 呼び径5	4

部品名（「ほたるライト」専用部品）	入り数	部品名（「ほたるライト」専用部品）	入り数
オープン用配線コード 	1	桁用配線カバー	1
踏板用配線カバー  取り付け用ねじ 十字穴付きバインドタッピンねじφ3×13　10本	1	コントローラー・コントローラーカバー  取り付け用ねじ 十字穴付きトラスタッピンねじφ4×12 2本	各1
LEDユニット・上り框用LEDユニット 	各1	LEDユニット・上り框用LEDユニット 取り付け用ねじ  十字穴付き丸タッピンねじφ3.1×16	40

部品名	入り数	部品名	入り数
桁固定金具 	左右各2セット	桁固定金具取り付け用ねじ だるま穴用  十字穴付きなべタッピンねじφ5×50	4
桁固定金具取り付け用ねじ 梁側 十字穴付き丸皿タッピンねじφ5×50	16	小型丸平座金 呼び径6	16
桁固定金具取り付け用ねじ 桁側 コーチボルト6×32	16	スプリングワッシャ 呼び径6	16

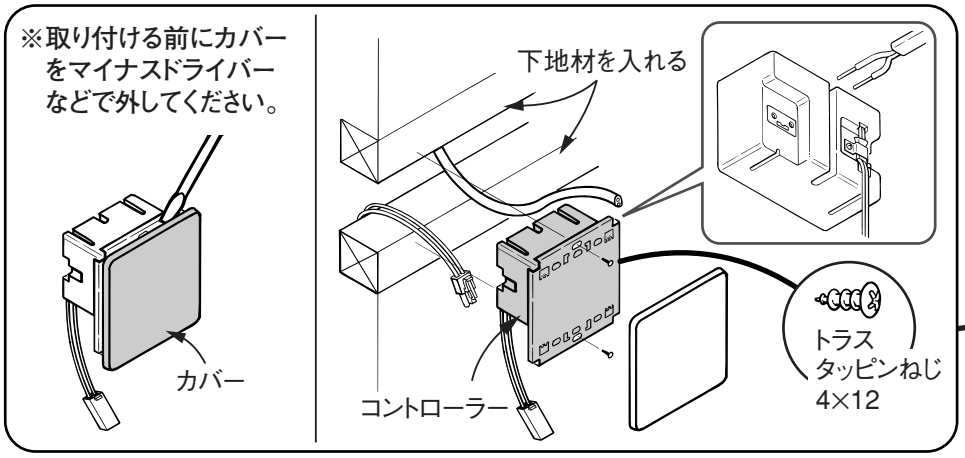
部品名	入り数	部品名	入り数
桁固定金具下部 	左右各1	桁固定金具下部取り付け用ねじ 床側 十字穴付き皿タッピンねじφ5×40	16
桁固定金具下部取り付け用ねじ 桁側 コーチボルト6×32	6	小型丸平座金 呼び径6	6

施工まえの準備

「ほたるライト」を施工する場合

■コントローラーの取り付け

●近くの壁面または床部にコントローラーを取り付けてください。

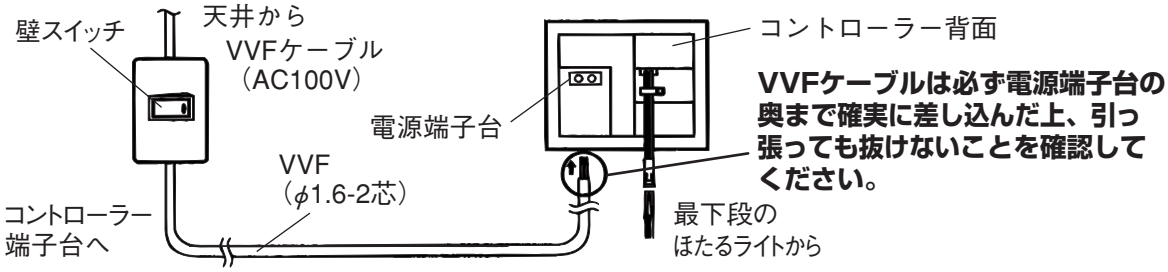


■壁スイッチの設置

●壁スイッチを使用する場合

壁スイッチは熱線センサ付き自動スイッチ（別売）のご使用をおすすめします。

※一般的なスイッチを使用される場合は、三路スイッチ配線にして、階上・階下に取り付けてください。

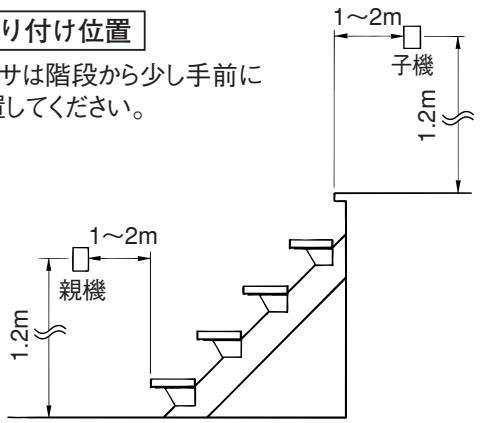


●熱線センサ付き自動スイッチを使用する場合

（専用の施工説明書をご参照ください。）

取り付け位置

センサは階段から少し手前に設置してください。



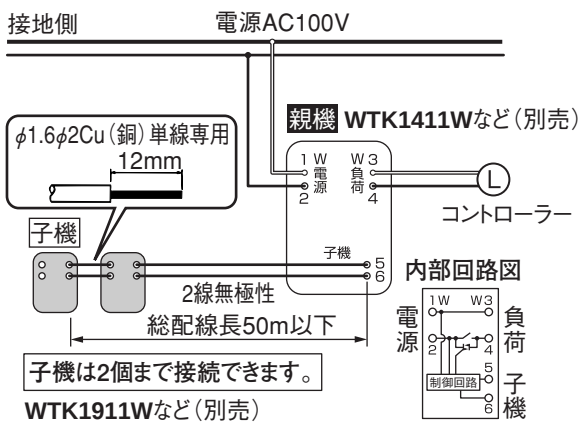
⚠警告

必ず守る

結線する場合、電線を奥まで差し込む

守らないと、発熱し、火災の原因となります。

配線図



以下の場所には取り付けないでください

- ●エアコンなどの吹き出し口の近くや、急激な温度変化のあるところ
- ●太陽光線やヘッドライトの当たるところ
- ●反射の強い床面のあるところ
- ●カーテンや観葉植物などゆれるものの近く
- ●白熱灯の近くや検知範囲内に照明器具のあるところ
  （白熱灯とセンサは1m以上離してください）

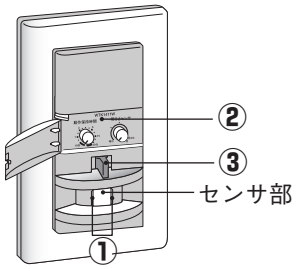
※人の動きなどの温度変化分（3℃以上）を検知して動作します。

※強い風などの影響による周囲の温度変化を検知することがありますが、故障ではありません。

注意

- ●誤結線や負荷側を短絡させないでください。また、子機配線を地絡させないでください。
  再使用できなくなります。
- ●メガ測定ではこの器具を外してください。
  ※電線（電路）と大地間は取り付けたままです。
- ●子機配線を誤らないでください。

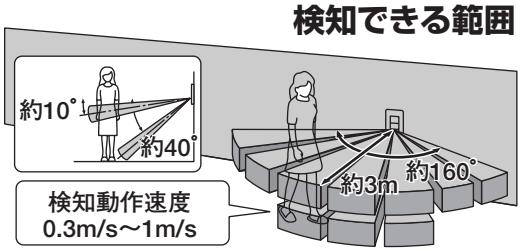
■取り付け後の確認



注意

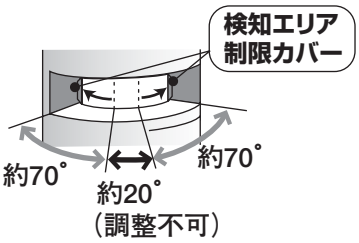
- 電源投入後、約50秒間は検知状態となり、「ほたるライト」がONし、設定時間後OFFします。
- センサの汚れは乾いた布でふき取ってください。

検知できる範囲



① 検知範囲を決める

カバーをスライドさせて、検知エリアを最大にする

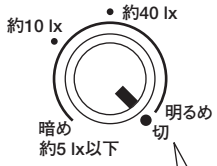


② 動作照度と動作保持時間を合わせる

- 動作保持時間を最大にする（30分）

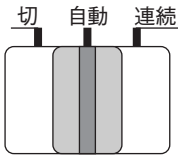
※ツマミは「カチッ」と止まる位置に合わせてください。

- 明るさセンサを「切」にする



明るさに関係なく、センサが働きます。

③ 手動スイッチを自動にする



切	常時	OFF
自動	自動で	ON OFF
連続入	常時	ON

施工のしかた

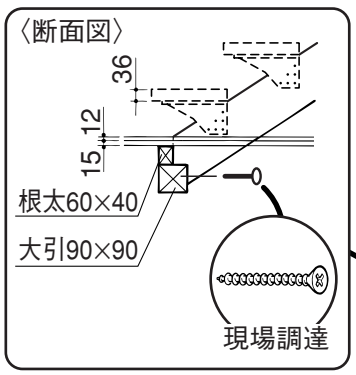
〔寸法単位：mm〕

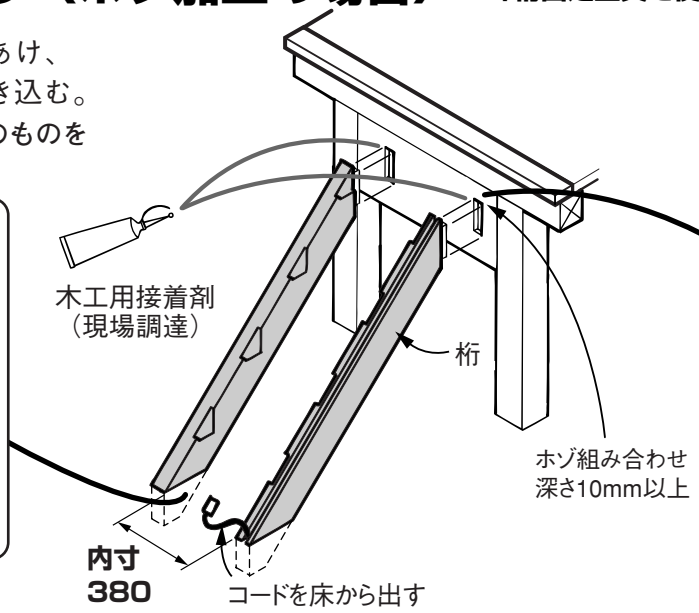
1 桁の取り付け〈ホゾ加工の場合〉

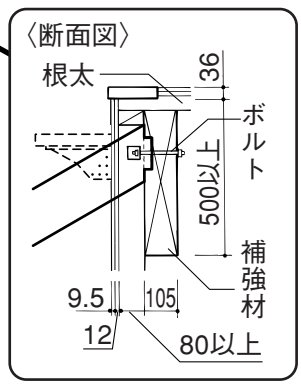
※「桁固定金具を使用する場合」は裏面参照

- コネクターのメスを引き込む。
- コードの引き込み穴をあけ、

※ねじは長さ45mm以上のものを使用してください。

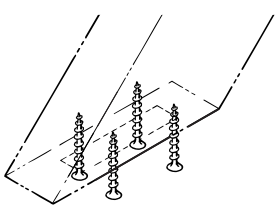






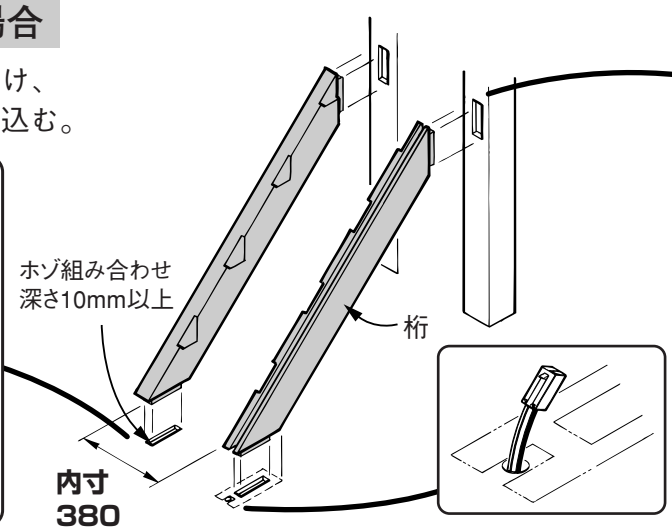
床が施工されている場合

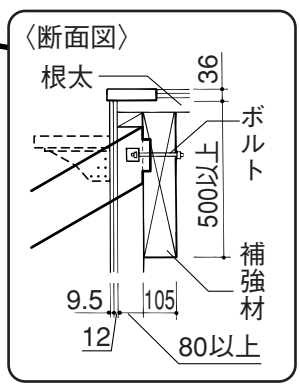
- コネクターのメスを引き込む。
- コードの引き込み穴をあけ、



木工用接着剤とねじを併用で固定する。（現場調達）

※ねじは長さ45mm以上のものを使用してください。





1 桁の取り付け〈桁固定金具を使用する場合〉

※必ず同梱のねじをご使用ください。

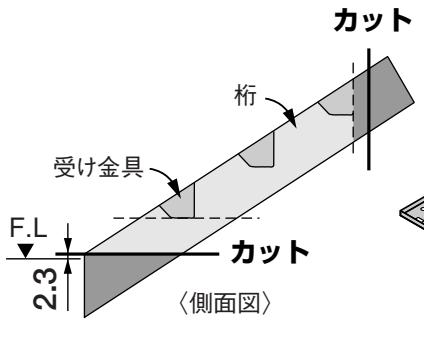
※桁固定金具はデザイン階段専用の金具です。デザイン階段以外には使用しないでください。

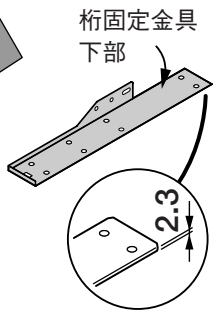
1. 受け金具のラインを参考に、墨出しをして、桁をカットする。

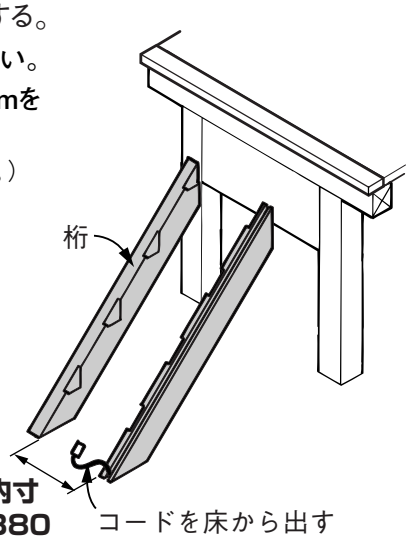
※受け金具のラインと水平になるようにカットしてください。

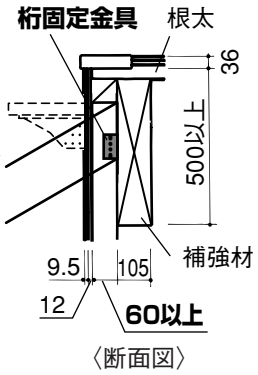
※桁をカットする際は、「桁固定金具 下部」の厚み2.3mmを考慮してください。

（デザイン階段の前区間が箱型・ひな段階段場合は不要です。）



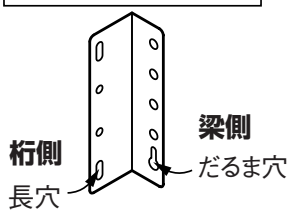


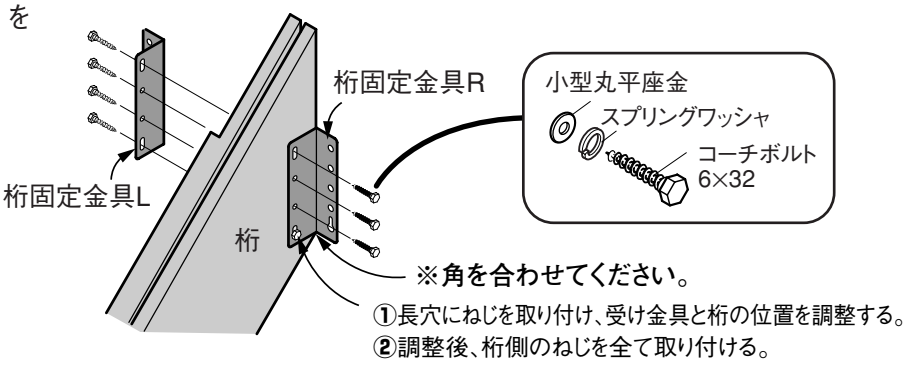




2. 桁の上部両側に「桁固定金具」を仮固定する。

「桁固定金具」の向き

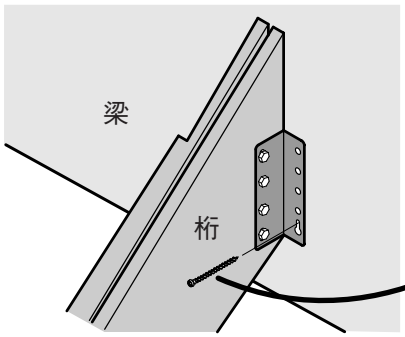




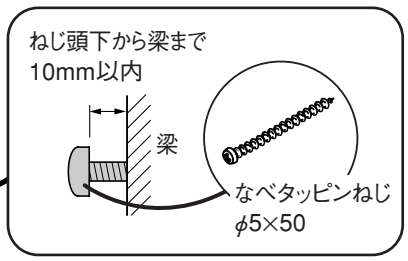
3. 桁を梁に仮固定する。

お願い

必ず「桁上部」から施工してください。
「**桁下部**」を先に施工すると、
梁と「桁上部」がピッタリと
合わなくなる場合があります。

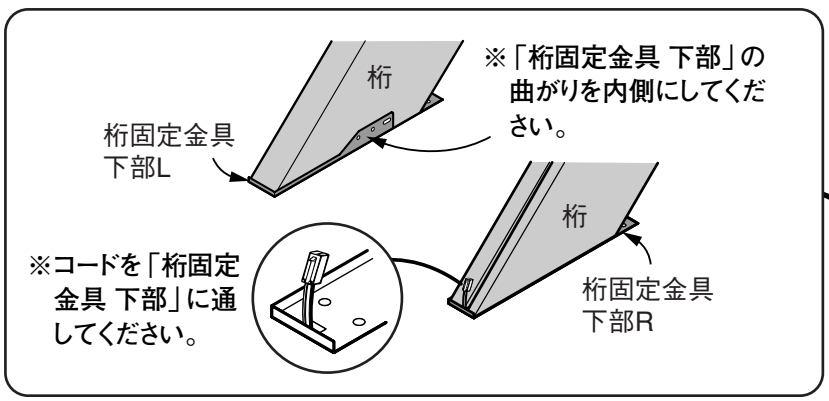


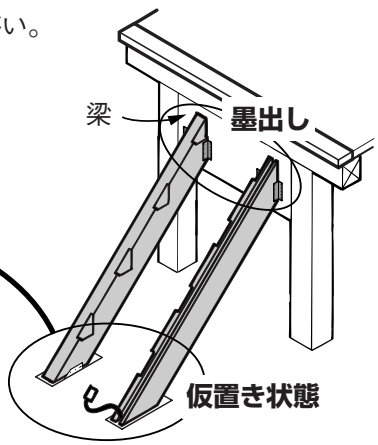
※だるま穴にガイド穴をあけ、ねじを仮固定してください。



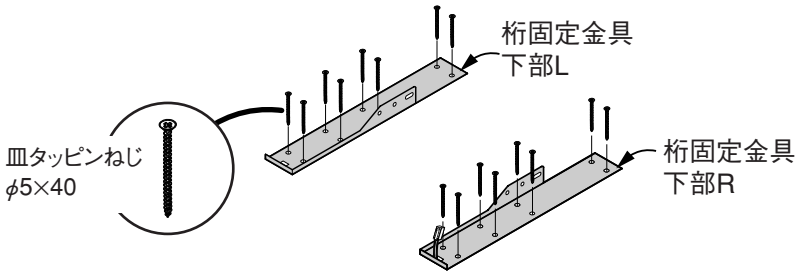
4. 「桁固定金具 下部」を仮置きする。

桁下部に「桁固定金具 下部」を差し込みます。桁上下部の墨出しを行ってください。



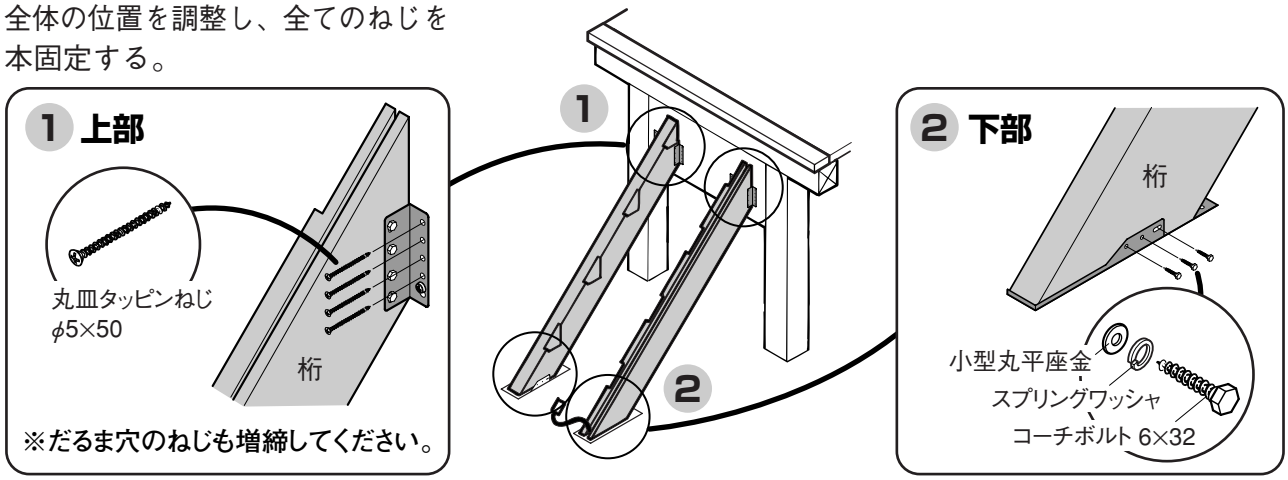


5. 桁を取り外し「桁固定金具 下部」を床に取り付ける。



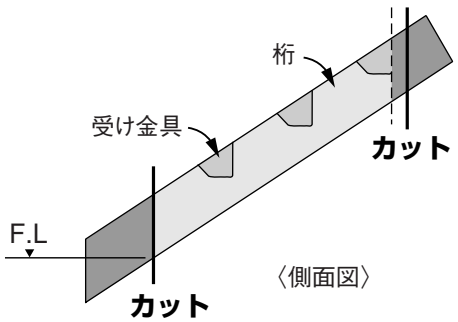
6. 桁を「桁固定金具 下部」の上に戻す。

7. 全体の位置を調整し、全てのねじを本固定する。

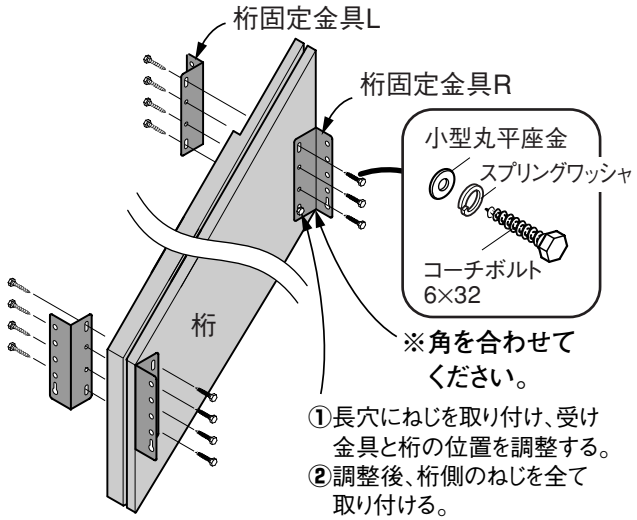


デザイン階段の前区間が箱型・ひな段階段場合

1. 受け金具のラインを参考に、墨出しをして、桁をカットする。
※受け金具のラインと水平になるようにカットしてください。

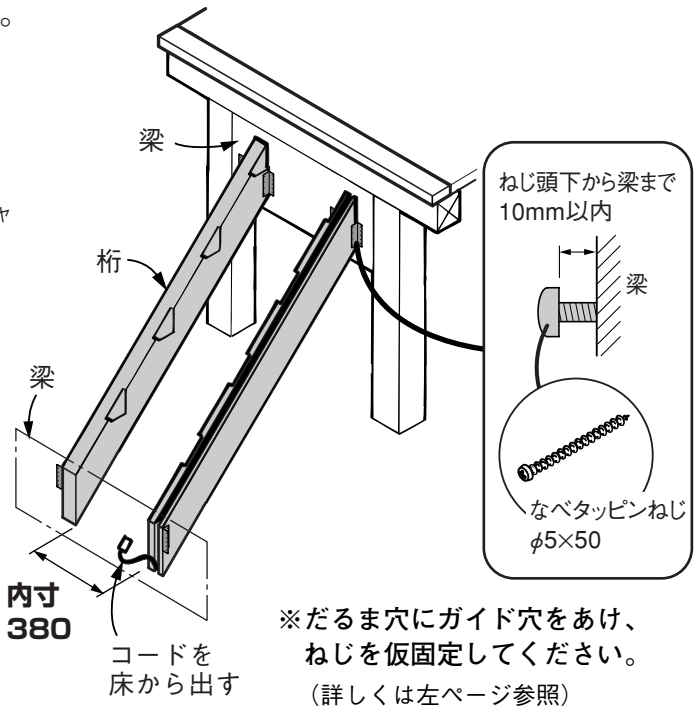


2. 桁の上部と下部に「桁固定金具」を取り付ける。



3. 桁を梁に仮固定する。

4. 全体の位置を調整し、全てのねじを本固定する。

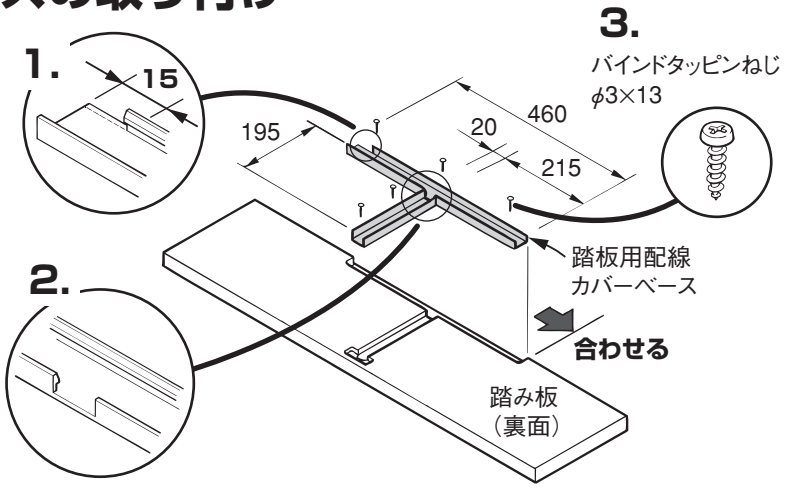


※だるま穴にガイド穴をあけ、ねじを仮固定してください。
（詳しくは左ページ参照）

2 踏板用配線カバーベースの取り付け

※「ほたるライト」無しの場合は不要です。

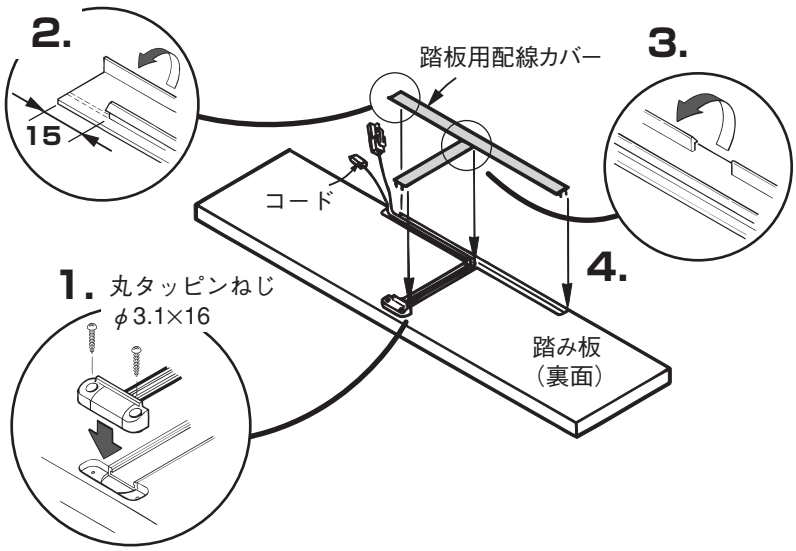
1. 踏板用配線カバーベースをカットし、上部先端を切り欠く。
2. 図の寸法に従い、縦横交わる部分を切り欠く。
3. 踏み板に踏板用配線カバーベースをねじで取り付ける。



3 ほたるライト用LEDユニットの取り付け

※「ほたるライト」無しの場合は不要です。

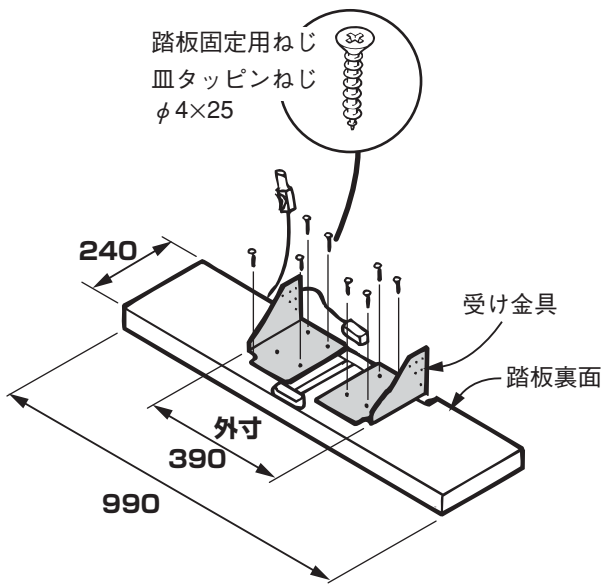
1. ほたるライト用LEDユニットをねじで取り付ける。
   ※上框には上框用LEDユニットをご使用ください。
2. 踏板用配線カバーベースに合わせて踏板用配線カバーをカットし、上部先端を切り欠く。
3. 縦横交わる部分を切り欠く。
4. コードをベースに納め、踏板用配線カバーを取り付ける。



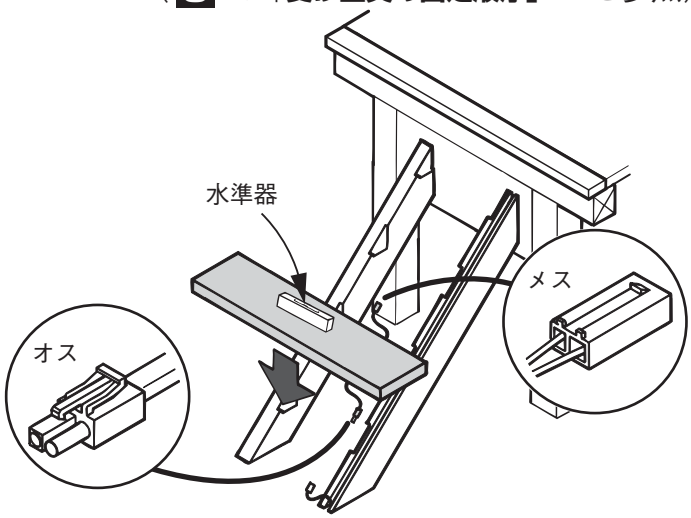
4 最下段の踏み板の取り付け

※床面からの高さが低いため、先に踏み板に受け金具を取り付けます。

1. 踏み板に受け金具を固定する。



2. 踏み板を桁に差し込み、仮固定する。
   ※配線コードを下図のように出してください。
3. 水準器でレベル調整し、桁に固定する。
   （5 の「**受け金具の固定順序**」**1・3**参照）



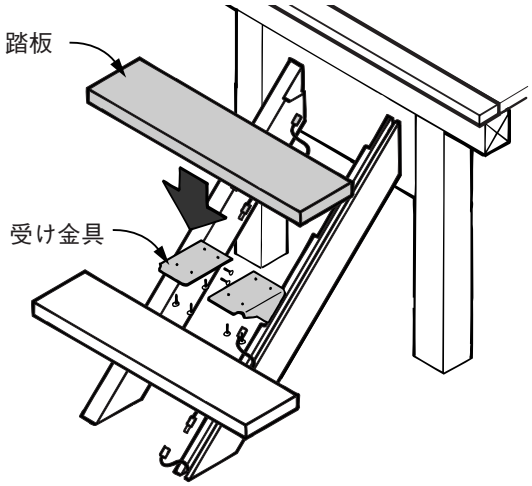
5 2段目からの踏み板の取り付け

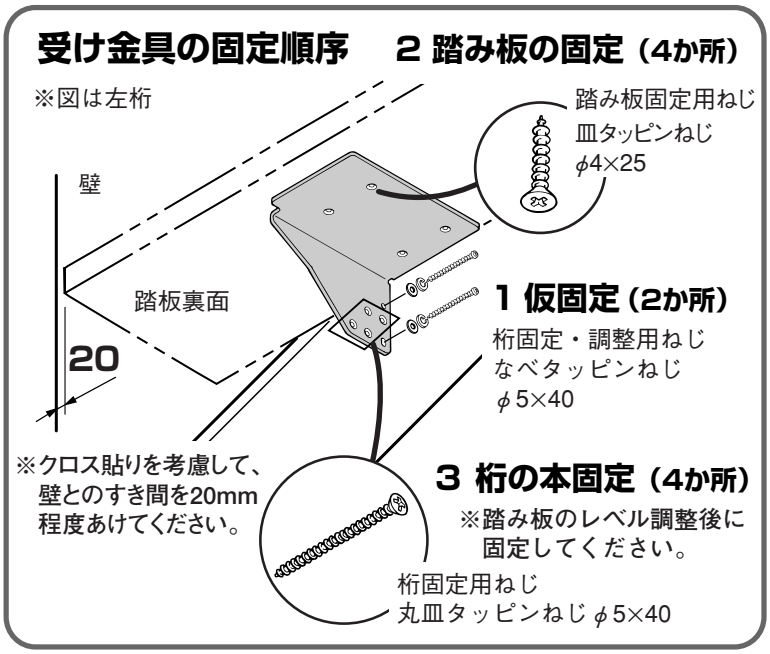
※受け金具を桁に取り付け、踏み板をのせて取り付けます。

1. 受け金具を調整用ねじで仮固定する。

2. 踏み板を固定する。

3. 調整用ねじでレベル調整後、本固定する。

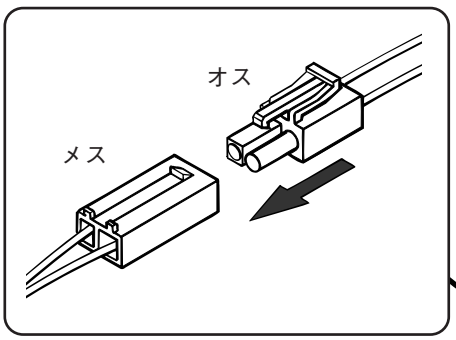


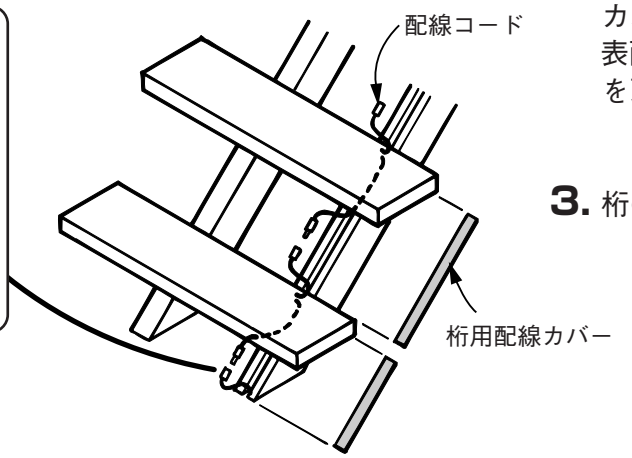


6 桁用配線カバーの取り付け

※「ほたるライト」無しの場合は不要です。

1. 桁用配線コードを接続する。





2. 一段ごとに桁用配線カバーをカットし、表面のクリアフィルムを取る。

3. 桁の溝に取り付ける。

施工後の確認

■下記の表に従い、施工の仕上がりをチェックしてください。

チェック項目	チェック	チェック項目	チェック
踏板は水平に取り付けられていますか？		固定用ねじにゆるみはないですか？	
階段全体のガタツキはないですか？		コンセントに電源100Vはきていますか？	
ほたるライトは点灯しますか？		配線コードはきちんと接続されていますか？	

※内装工事が続いてあるときは、梱包材などで商品の養生をおこなってください。

パナソニック株式会社　内装システムビジネスユニット
〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地
© Panasonic Corporation 2012